

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成25年11月28日(2013.11.28)

【公表番号】特表2013-507306(P2013-507306A)

【公表日】平成25年3月4日(2013.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-011

【出願番号】特願2012-534261(P2012-534261)

【国際特許分類】

B 6 5 H 23/025 (2006.01)

B 6 5 H 27/00 (2006.01)

B 2 6 D 1/24 (2006.01)

B 2 6 D 7/14 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 23/025

B 6 5 H 27/00 B

B 2 6 D 1/24 C

B 2 6 D 7/14

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月7日(2013.10.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

中央部分と、第1の縁部分と、前記第1の縁部分の反対側の第2の縁部分と、前記第1の縁部分及び前記第2の縁部分の両方に直交する張力方向と、を有する張力面と、

前記張力面の第1の表面上の前記第1の縁部分に隣接する第1の波形表面を有する第1のニップホイールと、

前記第1の表面の反対側の前記張力面の第2の表面上の前記第1の縁部分に隣接する第2の波形表面を有する第2のニップホイールと、を備え、

前記第1の波形表面と前記第2の波形表面とは、少なくとも部分的に互いに噛み合う、ウェブテンショナー。

【請求項2】

前記張力面の第1の表面上の前記第2の縁部分に隣接する第3の波形表面を有する第3のニップホイールと、

前記第1の表面の反対側の切断面の第2の表面上の前記第2の縁部分に隣接する第4の波形表面を有する第4のニップホイールと、を更に備え、

前記第3の波形表面と前記第4の波形表面とは、少なくとも部分的に互いに噛み合う、請求項1に記載のウェブテンショナー。

【請求項3】

中央部分と、第1の縁部分と、前記第1の縁部分の反対側の第2の縁部分と、前記第1の縁部分及び前記第2の縁部分の両方に直交する張力方向と、を有する張力面と、

前記張力面の第1の表面上の前記第1の縁部分に隣接する第1の波形表面を有する第1のニップホイールと、

前記第1の表面の反対側の切断面の第2の表面上の前記第1の縁部分に隣接する第2の波形表面を有する第2のニップホイールと、

前記中央部分を切斷するよう配置される少なくとも1つの切斷デバイスと、を備え、前記第1の波形表面と前記第2の波形表面とは、少なくとも部分的に互いに噛み合う、ウェブスリッター。

【請求項4】

ウェブに側方張力を付与する方法であって、

ウェブ下方向に移動するウェブを懸架する工程であって、前記ウェブは、中央部分と、第1の縁部分と、前記第1の縁部分の反対側の第2の縁部分と、を有する、工程と、

第1のニップホイールの第1の波形表面を、前記ウェブの第1の表面上の前記第1の縁部分に隣接して配置する工程であって、前記第1のニップホイールは、第1の軸線を有する、工程と、

第2のニップホイールの第2の波形表面を、前記ウェブの第2の表面上の前記第1の縁部分に隣接して配置する工程であって、前記第2のニップホイールは、前記第1の軸線に平行な第2の軸線を有する、工程と、

第3のニップホイールの第3の波形表面を、前記ウェブの前記第1の表面上の前記第2の縁部分に隣接して配置する工程であって、前記第3のニップホイールは、第3の軸線を有する、工程と、

第4のニップホイールの第4の波形表面を、前記ウェブの前記第2の表面上の前記第2の縁部分に隣接して配置する工程であって、前記第4のニップホイールは、前記第3の軸線に平行な第4の軸線を有する、工程と、

前記第1のニップホイールを前記第1の軸線の周囲に回転させるように駆動すること、および、前記第2のニップホイールを前記第2の軸線の周囲に回転させるように駆動することのうちの少なくとも一方を行う工程と、

前記第3のニップホイール及び第4のニップホイールのうちの少なくとも一方を駆動して、前記第3のニップホイールを前記第3の軸線の周囲に回転させ、前記第4のニップホイールを前記第4の軸線の周囲に回転させる、工程と、

前記第1の波形表面を前記第2の波形表面と互いに噛み合わせ、前記第3の波形表面を前記第4の波形表面と互いに噛み合わせることにより、前記ウェブの前記中央部分に側方張力を付与する工程と、を含む、方法。